

NEWSLETTER No.122 TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ
ISSN 1340-5578 The Society for Research in Asiatic Music September 25, 2024

一般社団法人 東洋音楽学会 会報 第122号

発行 一般社団法人東洋音楽学会
事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152
●E-mail : LEN03210@nifty.com ●ホームページ : http://tog.a.la9.jp

目次

第13回定時社員総会のお知らせ..... 1	沖縄支部からのお知らせ..... 6
総会への出席と「書面議決書」または「委任状」提出のお願い..... 2	前号記事の訂正とお詫び..... 6
第75回大会のご案内..... 2	ハインツ=ディーター・レーゼ氏のご逝去を悼む..... 6
第42回田邊尚雄賞アンケートのお願い..... 3	第二回尺八研究シンポジウム発表の募集..... 7
情報委員会からのお知らせ..... 3	会員異動..... 7
会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせなど..... 4	図書・資料等の受贈..... 8
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ..... 4	新刊書籍..... 8
RILM(音楽文献目録)委員会からのお知らせ..... 5	新発売視聴覚資料..... 10
東日本支部からのお知らせ..... 5	編集後記..... 10

第13回定時社員総会のお知らせ

一般社団法人東洋音楽学会 正会員各位
一般社団法人東洋音楽学会 会長 小塩さとみ

第13回定時社員総会招集状

一般社団法人東洋音楽学会定款第16条及び第18条の定めに基づき、第13回定時社員総会を下記の通り開催いたしますので、正会員はご出席下さい。

記

日時 2024年11月16日(土) 16時30分~17時30分
場所 東京学芸大学芸術館

審議事項

- 第1号議案 役員選任の件
- 第2号議案 令和5年(2023年)度事業報告の件

- 第3号議案 令和5年(2023年)度収支決算の件
- 第4号議案 令和6年(2024年)8月31日現在貸借対照表および正味財産増減計算書の件
- 第5号議案 令和6年(2024年)8月31日現在会員移動状況の件
- 第6号議案 定款施行細則第1条、第2条変更の件
- 第7号議案 その他

報告事項

- 1. 令和6年(2024年)度事業計画の件
- 2. 令和6年(2024年)度収支予算の件
- 3. その他

*総会に出席できない正会員の方は、「書面議決書」または「委任状」の提出をお願いします。詳しくは、別項「総会への出席と「書面議決書」または「委任状提出」のお願い」をお読みください。

*上記以外の議案を提出なさりたい方は、あらかじめ事務局にご連絡ください。

総会への出席と「書面議決書」 または「委任状」提出のお願い

正会員みなさん、総会の成立には正会員の過半数の出席(議決権の行使)が必要です。

総会への出席(議決権の行使)は一般社団法人の正会員の権利であり、責務でもあります。総会にはぜひご出席ください。やむを得ず総会を欠席する場合には、下記のいずれかによって議決権を行使することができます。

①「書面議決書」の提出

書面議決書とは、議案への賛否をあらかじめ表明する文書です。議案書および書面議決書の書式は、10月末頃までに学会ホームページ(<http://tog.a.la9.jp/>)に掲載されます。担当理事から、11月初旬に「書面議決書提出のお願い」を電子メールにて配信しますので、議案書を読み、11月15日(金)までに、電子メールの回答フォームで回答するか、書面議決書の書式をダウンロードし、個々の議案への賛否を記入して、議案書に記したメールアドレス宛に返信してください。

インターネットを使わない正会員の方で、書面議決書の提出を希望される方は、学会事務所にご相談ください。

②「委任状」の提出

他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができます。委任する方は、同封されている「総会欠席葉書」の委任状の欄に、代理人の氏名とご自身の氏名を記入し、押印の上でなるべく 11月7日(木)までに投函してください。代理人は総会に出席する正会員のみが認められます。なお、空欄の場合は、会長に代理人の選任を一任したものと扱います。

第75回大会のご案内

東洋音楽学会第75回大会は、東京学芸大学小金井キャンパス(東京都小金井市貫井北町4-1-1)にて同封のプログラムのとおり開催いたします。

第1日の11月16日(土)の公開講演会では「近代日本音楽の復古と革新」のテーマのもとに、来年生誕150年を迎える鈴木鼓村(1875~1931)と本年生誕130年を迎えた宮城道雄(1894~1956)の事績を振り返ります。公開シンポジウムの登壇者は、鈴木鼓村の創始した京極流の三代宗家で2021年に京極流研究の集大成の『改稿 京極流歌譜』を出版した和

田一久氏と、本年全5巻が完成した『宮城道雄著作全集』の責任編集を務められた宮城道雄記念館資料室室長の千葉優子氏です。お二人にお話いただいた後に、スティーブン・G・ネルソン氏によるコメントを踏まえて復古と革新をめぐる議論を展開します。

その後、SPレコードをデジタル化した音源から鈴木鼓村自身の演奏、宮城道雄自身の演奏を鑑賞し、続いて京極流箏曲の唯一人の正統な継承者の和田一久氏による公演を開催します。京極流箏曲は本学会の田邊尚雄初代会長も愛好した箏曲で、昭和59年(1984)の田邊尚雄初代会長の東洋音楽学会葬では京極流箏曲の「紅梅」の奏楽(レコードによる)も行われました。

第2日の11月17日(日)は3会場に分かれて、個人発表25件、共同発表1件、映像発表2件の計28件の研究発表が行われます。今回の大会テーマである「東洋・アジア音楽の復古と革新」に呼応したもの、各人の自由なテーマによるものなど多彩な内容になっており、充実した活発な議論が期待されます。休憩室では和田一久氏が平成5年(1993)に京都の東福寺の塔頭の退耕庵で行った京極流箏曲演奏会の音源も用意しております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

◇大会参加申し込みの方法

大会に参加する方は下記からお申し込みください。

〈参加申し込みのURLおよびQRコード〉

<https://forms.gle/cc1ZC22TVBbGrxo2A>



11月7日(木)までにお申し込みください。

◇大会参加費、懇親会費、弁当代について

・参加費 *早割の期限は10月31日(木)

正会員：早割3,000円、早割期限以降3,500円

正会員のうちの大学院生(修士課程・博士課程・研究生在籍者)と学生会員：早割1,500円、早割期限以降2,000円
非会員(第2日のみ)：1,500円(資料代)

・懇親会費

正会員：4,500円

正会員のうちの大学院生と学生会員：2,000円

・弁当代(第2日)：1,000円(お茶付き)

※懇親会は学芸大の小金井キャンパス内に今春開校した辻調理師専門学校東京(Kitchen Lab PRISM)で行います。

※懇親会費、お弁当代は11月7日(木)までにお申し込みの上、お振り込みください。

※会場の近くに飲食店はありませぬ。最短のコンビニは会場から徒歩7~8分です。

※プログラム冊子は再配布しませぬので、ご持参下さい。当日必要な場合は、500円で頒布します。

◇参加費等の振込先

下記のゆうちょ銀行にお願い致します。(払込取扱票はお送りしていません)

●銀行名 ゆうちょ銀行

口座名義 一般社団法人 東洋音楽学会

シャ) トウヨウオンガクガクカイ

記号 10150 番号 93437151

●ゆうちょ銀行以外から振込の場合

店名 〇一八(ゼロイチハチ) 店番 018

預金種目 普通預金

口座番号 9343715

なお、「大会案内」のウェブサイトからPayPalも利用できます。

◇大会実行委員会

委員：有澤知乃、遠藤徹(実行委員長、本部総務)、

大室満佐子、小林美季子、島添貴美子、中川優子、

配川美加(本部経理)、比嘉舞、森田敬子、八桁由布樹

事務局：東京学芸大学 遠藤研究室気付

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

連絡先：東洋音楽学会第75回大会実行委員会：

tog75taikai@gmail.com

第42回田邊尚雄賞アンケートのお願い

第42回田邊尚雄賞選考委員会では、新刊情報を広く収集しています。会員の業績を顕彰する貴重な機会ですので、著

作物を出版される際は、選考委員会までお早めにお知らせ下さい。自薦のほか他薦も歓迎いたします。

選考対象：2024年1月1日~12月31日の発行物

受付期間：随時。締切は2025年2月上旬(予定)。

記入事項：著者名、書名、発行年月日、発行所名。

なお、論文の場合は、掲載誌名・巻次・編集者名・論文頁数も記して下さい。推薦理由を簡潔にお書き添えていただいても構いません。

◇送付先：東洋音楽学会 第42回田邊尚雄賞選考委員会

(郵送)〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号

(Fax) 03-3832-5152

(電子メール) LEN03210@nifty.com

※ご連絡の受け取り確認などは遅れる可能性もあります。

選考委員：海野るみ、奥中康人、高瀬登子、田中有紀、

濱崎友絵

情報委員会からのお知らせ

1. 会員情報の登録について

会員のみなさまの最新のメールアドレスの登録、および会報などのデジタル配信にご協力をいただき感謝いたします。すでに多くのメールアドレスに、会報などのデジタル版および研究集会などの学術情報を配信しておりますが、さらに多くの方からの「メールアドレス登録+郵送停止」を募っております。メーリングリストでの配信をご希望の方は、郵送を停止する旨、「東洋音楽学会会員名簿情報等登録フォーム」でご登録ください。この登録にかかわらず、大会案内を同封する9月の号は会員のみなさま全員へ郵送されます。

なお住所変更などの会員情報の変更も、この登録フォームから行えます。学会トップ頁より、「会員の皆様へ」とお進みの上ログインしてください。



上記フォームにアクセスするためのIDとパスワードは、会報第119号(全会員へ郵送)3頁に記載しています。また、

ログインに関するお問い合わせは情報委員会 (togictmt@gmail.com) へ、または学会事務局 (LEN03210@nifty.com) までお送り下さい。

2. 音楽文献目録ログイン情報について

本学会ウェブサイトから音楽文献目録オンライン版を利用するために必要な情報が、2024年10月1日(火)10:00より変更となります。この日時以降は、本号会報に同梱される別紙記載のログイン情報をご利用ください。

会費納入のお願いと 会費割引制度のお知らせなど

1. 会費納入のお願い

2024年9月から新しい年度(2024年度)が始まりました。会費未納の方は、金額をお確かめの上お払くださいますよう、お願い申し上げます。振込用紙を紛失された場合は、下記学会口座宛にお振込ください。なお、本会報と入れ違いに納入された場合はどうぞご容赦ください。

正会員：8,000円

学生会員(大学院生を除く)、および割引申請者：6,000円

○郵便局からの払込

ゆうちょ銀行[口座番号]00160-6-55723 [加入者名]一般社団法人東洋音楽学会

○他金融機関からの振込

ゆうちょ銀行[支店名]〇一九(ゼロイチキョウ)店
(019)[当座]0055723

○オンライン決済サービスによる納入

ペイパル(PayPal)によるオンライン決済も会費が納入できます。学会ウェブサイトのトップページ

(<http://tog.a.la9.jp/>)の「入会方法はこちら」をクリックし、「入会方法」のセクションをご覧くださいと納入ボタンがあります。オンライン決済にはペイパルへのログインが必要です。ペイパル・アカウントをお持ちでない方は、アカウントを開くと送金できます(アカウント開設費無料)。なお、オンライン決済には手数料が発生するため、納入金額は以下になります。

正会員：8,350円

学生会員(大学院生を除く)、および割引申請者：6,280円

2. 会費割引制度のお知らせ

本学会には、夫婦・親子割引、大学院生(博士課程・修士課程)・研究生割引の制度があります。それぞれ条件や申込方法が異なります。学会のホームページ

(<http://tog.a.la9.jp/about.html#7>)でご確認の上、お申し込みください。なお、大学院生の割引制度を受けるためには「大学院生会費減額措置願い」と学生証のコピーを、また研究生の割引制度を受けるためには、「研究生会費減額措置願い」と学生証のコピー、履歴書が必要です。次年度以降も継続して減額措置を希望する場合は、毎年、前年度末すなわち8月31日までに、「減額措置願い」を提出する必要があります。

3. 会費の滞納者へのご注意

滞納がありますと、会員の権利(研究会・大会での発表、学会の発行物の受取)が行使できないことがありますのでご注意ください。

4. 卒論・修論の発表者へのご注意

発表を機に入会された会員にも、新年度の会費納入義務が発生いたします。退会するためには退会届が必要です。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第90号(2025年8月刊行予定)の原稿を募集いたします。

投稿を希望される方は、学会機関誌最新号に掲載予定の「投稿規定」および「投稿の手引き」(学会ホームページにも記載あり)をよくお読みの上、ご投稿ください。「投稿規定」および「投稿の手引き」は機関誌編集委員会で改定を行うことがあります。必ず最新号でご確認ください(学会ホームページで閲覧する場合、最新のものを取得するために、ページの再読み込みを必ずおこなってください)。

*第90号より、投稿原稿の送付方法が郵送からメールに変更となりました。

分量の限度の守られない投稿がしばしば見受けられます。各原稿の字数制限は本文、注、文献表、譜例、図表、写真などを含むものとなっておりますので、ご注意ください(字数を必ず明記してください)。

送付方法：メールにPDFとMS Wordの文書を添付の上でお送りください。メールでの送付が難しい場合には、編集委員会または学会事務局へご相談ください。

送付先：東洋音楽学会事務局<LEN03210@nifty.com>と機関誌編集委員長宛での2か所となる予定ですが、編集委員長のメールアドレスを含めて詳細は後日、学会ホームページに掲載いたします。

締切：2024年11月29日(金)必着

*例年より締切が早くなっておりますのでご注意ください。

RILM（音楽文献目録）委員会からのお知らせ

◇『音楽文献目録オンライン』の状況

『音楽文献目録オンライン』は、既刊の『音楽文献目録』41号以降の文献をWebで掲載中です。47号以降、事務局に情報が届いた文献については2024年3月に選定された分までの文献が公開されています。それ以降の文献も、順次公開される予定です。今後、41号以前の遡及入力も進め、会員のみならずには過去の目録も含めて検索・閲覧できるようになります。

また、『音楽文献目録オンライン』上の広告は2022年4月1日から開始し、現在1件掲載していますが、広告枠にはまだ余裕があり引き続き募集(5,000円～)しています。なお、冊子体による遡及入力のための基金を募集しており、今年度、当学会からも3万円の寄付をいただきました。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

『音楽文献オンライン』にログインするためのIDとPWは、会員限定情報であるため、非会員が閲覧する可能性のある会報には、今後掲載しないことになりました。会員のみならずは、この会報9月号とともに別紙に記載して周知いたします。ログインに関するお問い合わせは情報委員会(togictcmt@gmail.com)までお送りください。

東日本支部からのお知らせ

1. 定例研究会発表募集(12月、2月例会)について

東日本支部では、2024年12月7日(オンライン開催)と、2025年2月1日(開催方式未定)の定例研究会における発表を募集しています。

発表をご希望の方は、発表種別(研究発表・報告等)、発表題目、要旨(800字以内)、発表希望月、氏名、所属機関、連絡先(住所、電話、E-mail)を明記の上、12月例会については9月20日までに、2月例会については11月20日までに、東日本支部事務局にメール(tog.higashi@gmail.com)でお申し込みください。

なお、発表希望をご提出後1週間経っても支部事務局から連絡がない場合には、メール事故等の可能性がありますので、お手数ですが、再度ご連絡ください。

2. 例会の参加申込みについて

例会の最新情報、及び「参加申込みフォーム」は、支部のウェブサイトに掲載されます。支部ウェブサイト(<http://tog.a.la9.jp/higashi/index.html>)で情報をチェックし、早めにお申し込みください。

3. 「東日本支部だより」郵送停止のお知らせ

「東日本支部だより」は、第63号(2023年11月発行)より、紙媒体の印刷・郵送を停止し、学会ウェブサイトから配信するのみとなりました。学会ウェブサイトより閲覧し、必要に応じてダウンロード、印刷を行なってください。最新号の発行は、学会メーリングリスト(ML)で告知し、URLを送信します。学会MLに参加していない方は、以下QRコード、あるいはURLから登録フォームにアクセスし、メールアドレスを登録してください。



URL: <https://qr.paps.jp/19Xb>

「東日本支部だより」の郵送継続を希望される場合は、支部事務局に直接ご連絡ください(tog.higashi@gmail.com)。上記フォームで「郵送継続を希望する」にチェックを入れた場合も、必ず支部事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

4. 「会員の声」投稿募集

東日本支部発行「東日本支部だより」には、会員の皆様から寄せられた情報を掲載する「会員の声」欄を設けています。研究会、講演会、展示会など、会員の活動に関連する情報がありましたら、東日本支部事務局までお知らせください。投稿方法は、以下の通りです。

1) 締切：2024年10月20日(11月上旬発行予定の「支部だより」に掲載します)

2) 原稿の送り先：東日本支部事務局

tog.higashi@gmail.com

3) 字数・書式：25字×8行以内(投稿者名明記のこと)

4) 内容：

①催し物、出版物などの情報

研究会、講演会、演奏会、CD、DVD、書籍出版、展示、見学会など

②学会への要望や質問

支部例会、大会、機関誌など、学会に対する感想や要望

*原稿の採否は「支部だより」担当者にご一任ください。編集の都合上、お送りいただいた原稿に多少手を加えさせていただきますので、ご了承ください。

沖縄支部からのお知らせ

◇定例研究会について

これからの開催については、第83回定例研究会を2025年2月頃に予定しています。発表希望者を随時受け付けております。また、他支部会員の発表も歓迎致します。発表を希望される場合には、沖縄支部事務局までご連絡ください。

沖縄支部事務局：

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町 1-4

沖縄県立芸術大学音楽学部 小西研究室気付

MAIL: okinawashibu.toyo@gmail.com

メールでのエントリー締切日は、2024年12月13日(金)17時、郵送の場合は同日必着です。応募状況によっては、第84回例会(2025年6月頃予定)での発表となる可能性をお含みおきください。定例研究会の詳細な内容は、決まり次第、学会ウェブサイトに掲載します。また、学会員以外の方々も聴講可能ですので、奮ってご参加ください。

『沖縄支部通信No.50』では、第82回定例研究会のご報告を掲載しています。沖縄支部ウェブサイトよりダウンロードできますので、ぜひご覧ください。

前号記事の訂正とお詫び

前号に掲載された田邊尚雄賞授賞に関する記事中に、誤りがありました。下線部を下記の通り訂正し、お詫び申し上げます。

誤：平間充子

『古代日本の儀礼と音楽・芸能一場の論理から奏楽の脈絡を読む』(勉誠出版、2023年2月15日発行)

正：平間充子

『古代日本の儀礼と音楽・芸能一場の論理から奏楽の脈絡を読む』(勉誠出版(発売) 勉誠社(制作)、2023年2月15日発行)

ハインツ=ディーター・レーゼ氏の ご逝去を悼む

田辺沙保里

東洋音楽学会会員でケルン在住のハインツ=ディーター・レーゼ氏(Heinz-Dieter Reese 1952-2024)が、令和6年2月25日に急逝されました。

レーゼ氏は1974年からケルン大学でロベルト・ギュンター教授(Robert Günther 1929-2015)の下、民族音楽学(東アジアの音楽文化)を専攻し、吉川英史、岸辺成雄、横道萬里雄、平野健次、井野辺潔らの研究書等を通して、とりわけ日本音楽への造詣を深めました。1983年のデュッセルドルフ「日本週間」での文楽公演を皮切りに、彼はドイツ国内の音楽祭やラジオ局関係者からの依頼を受け、日本音楽の解説者としての活動を始めます。その後、ベルリンの国際比較音楽学研究所やケルン大学音楽学研究所での勤務を経て、1994年からケルン日本文化会館(Japanisches Kulturinstitut Köln)の文化担当官として、音楽と舞台芸術の企画および紹介に手腕を発揮しました。彼が携わった種目は、雅楽、声明、平家、能楽、文楽、素浄瑠璃、三曲、神楽、現代音楽など多岐にわたります。詞章の独語翻訳、歴史的背景や音楽構造に関する公演用小冊子の記述、ラジオ番組の制作等を通して、日本音楽をドイツ語圏へ伝達する上で大きく貢献されました。2018年に文化会館を退職した後も精力的に活動を続け、2019年7月には「ドイツにおける日本文化の普及に尽力し、日本と諸外国との友好親善に寄与した功績が顕著である」として日本国外務大臣から表彰されています。

義太夫節の研究を専門とするレーゼ氏は、1978年の日本

留学に際し国立劇場で出会った茂手木潔子氏を介して、後に竹本千歳太夫と長きに渡る親交を結び、互いに信頼し合う関係を築きました。「演奏に対して非常に厳しい耳をもち、義太夫節への音楽的な理解には並外れたものがあつた」と千歳太夫が述べた通り、彼は浄瑠璃の真髄を捉える鋭い音感をもっていたと考えられます。特に重視していたのは「声の力 (Die Macht der Stimme)」であり、浄瑠璃のみならず、声明、能楽などにも通ずるところがあります。豊澤富助らと実施したドイツ各都市での素浄瑠璃公演で「滞在中、レーゼ氏の細やかな気配りに幾度となく助けられた」と千歳太夫は回想しましたが、レーゼ氏を知る日本の演奏家や研究者たちは異口同音に、日本人のメンタリティを深く理解した、その献身的な姿勢を讃えています。彼の存在が、遙かドイツの地に上質な日本音楽を届けるために寄与したことは間違いないでしょう。

筆者は15年来研究に協力していただきましたが、亡くなる3週間前にケルンでお会いした時には「これからまだやるべきことが沢山あります！」と意気込み大変お元気そうであったので、突然の訃報は受け入れ難く、深い悲しみと落胆により本稿についても筆が進みませんでした。レーゼ氏と特にご親交のあつた迦陵頻伽聲明研究会や梅若研能会の皆様、尺八の田嶋直土氏など多くの演奏家や、音楽学者、関係各所の沢山の方々が胸を痛めていらつしやることと存じます。異文化受容における架け橋として、レーゼ氏の果たしてきたご功績を偲び、心より感謝と哀悼の意を表します。

第二回尺八研究シンポジウム発表の募集

アメリカ、テキサス州、テキサスA&M大学

日付：2025年4月16日、午前9時～午後5時

会場：LAAH (Liberal Arts and Humanities Bldg.)

発表要旨締切：2024年12月15日

参加費：30ドル (朝のお菓子、お茶、ランチボックス付)

2025年第二回尺八研究シンポジウム実行委員会は、米国テキサス、カレッジ・ステーションで4月16日に開催されるシンポジウムの発表者を現在募集しています。世界尺八フェスティバル2025の開幕前日に、米国最大の学生数74,000人以上を擁し、米国屈指の研究機関であるテキサスA&M大学の活気溢れるキャンパスを舞台に、尺八研究に関わる様々なテーマについて知的交流を図る刺激的な場を提供します。

民族音楽学、パフォーマンス研究、人類学、作曲、美術

史、社会学、日本研究、音響学、歴史学などあらゆる分野からの発表を募集しています。これら幅広い分野からのアプローチが、尺八を演奏する人々や楽器、音楽の研究において新しい視野を広げる機会になることを願っています。

第二回尺八研究シンポジウム発表について：

募集要項

発表テーマ：尺八に関連するあらゆるテーマ

発表時間：20分。質疑応答：10分。

申し込み手続

1. 発表者の略歴：英語100語以内、日本語の場合は200字 (メールアドレス必須)

2. 論文要旨の提出

締切：2024年12月15日 (日) 午後11時59分 (米国中部標準時間)

文字数：英語300語以内、日本語の場合は600～700字

言語：原則英語ですが、日本語も可。

送り先/連絡先：symposium.wsftexas2025@gmail.com

採用結果：2025年1月下旬にメールで送付します。

シンポジウムは英語で行われます。英語以外の言語で論文を発表される場合は、リアルタイムで投影される英訳をご用意ください。シンポジウム参加者からの質問には、パイリンガルのスタッフが対応します。

交通手段や宿泊施設に関する情報、テキサス州やテキサスA&Mについての詳細は、一般参加者のメニューをご覧ください。

会員異動

個人情報のため削除

◆登録事項の変更先

学会ウェブサイトの「東洋音楽学会会員名簿情報登録
フォーム」をご利用いただくか、学会事務局宛
(LEN03210@nifty.com または Fax 03-3832-5152) まで
お知らせください。

図書・資料等の受贈

(2024年5月~7月、到着順)
『ヴァナキュラー・アートの民俗学』
菅豊 編 東京大学出版会
『市来の七夕踊民俗文化財調査報告書』
鹿兒島県いちき串木野市教育委員会
『楽道』5,6,7月号 (公財)正派邦楽会
『民俗芸能研究』第75号 民俗芸能学会
『楽器コレクション管理資料集7 活動報告編』
2023年度版 国立音楽大学楽器学資料館
『琉球の音楽を考える——歴史と理論と歌と三線』
沖縄学術研究双書15 金城厚 榕樹書林
『近世の楽人集団と雅楽文化』 山田淳平 吉川弘文館

新刊書籍

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)、価格(税込)

『あなたの好奇心を刺激する【マイスターのQ&A】——弦楽器
のしくみとメンテナンス 楽器の性能篇』
佐々木朗、音楽之友社、1,980円
『あなたの好奇心を刺激する【マイスターのQ&A】——弦楽器
のしくみとメンテナンス 使いこなし篇』
佐々木朗、音楽之友社、1,980円
『ヴァナキュラー・アートの民俗学』
菅豊(編)、東京大学出版会、6,820円
『ヴィヴァルディの生涯——ヴェネツィア、そしてヴァイオリ
ンを抱えた司祭』ジャンフランコ・フォルミケッティ(著)、
大矢タカヤス(訳)、三元社、3,850円

『宇都宮とジャズ——ジャズから見た宇都宮近代カルチャー
史戦前 2023年』 うつのみやジャズのまち委員会(編著)、
下野新聞社、2,200円
『映画館に鳴り響いた音——戦前東京の映画館と音文化の近
代』 柴田康太郎、春秋社、9,680円
『陰陽師の平安時代——貴族たちの不安解消と招福(歴史文
化ライブラリー601)』 中島和歌子、吉川弘文館、2,090円
『風の盆おわら一代記——松永由太郎変転の人生』
中井三好、彩流社、1,760円
『華麗なる自動演奏の世界——永守オルゴールコレクション』
永守文化記念財団(編著)、
マリアパブリケーションズ、8,800円
『カンツォーネ・ナポレターナの影——戦後ナポリのポピュラ
ー音楽』 近藤直樹、ナカニシヤ出版、4,400円
『空白の團十郎——十代目とその家族(筑摩選書282)』
中村雅之、筑摩選書、1,870円
『組踊 下(琉球文学大系15)』
波照間永吉ほか、ゆまに書房、6,820円
『グレーバー+ウエングロウ『万物の黎明』を読む——人類史
と文明の新たなヴィジョン』
酒井隆史(編)、河出書房新社、2,530円
『建築が夢見る音楽——音楽と建築をつなぐこころみ』
古川聖ほか(編著)、東京藝術大学出版会、2,750円
『剣之術——火と水の結び』 松浦真人、春秋社、2,750円
『恋する文化人類学者——結婚が異文化をつなぐとき(角川ソ
フィア文庫J140-1)』 鈴木裕之、KADOKAWA、1,694円
『声と文字の人類学(NHKブックス1284)』
出口顯、NHK出版、1,760円
『声の科学——歌う医師があなたの声をデザインする 改訂版』
齊田晴仁、音楽之友社、3,850円
『国歌——勝者の音楽史』 上尾信也、春秋社、3,080円
『小鼓の心得——図解による小鼓の扱い方(第3版)』
天理教音楽研究会おつとめ研究室(編)、
天理教道友社、660円
『子どもの音楽的素地を育むために——日本語と協同性に着
目したプログラムの開発』 岡林典子、一藝社、4,510円
『コンクール文化論——競技としての芸術・表現活動を問う』
宮入恭平、増野亜子、神保夏子、小塩さとみ(編著)、
青弓社、2,640円
『コンサートホール×オーケストラ 理想の響きをもとめて
——音響設計家・豊田泰久との対話』
林田直樹ほか、アルテスパブリッシング、2,640円
『作曲家◎人と作品シリーズ——プロコフィエフ』
菊間史織、音楽之友社、2,640円
『シェレメーチェフ家の農奴劇場——一八世紀ロシアのオペ

- ラ文化史』 森本頼子、道和書院、3,520円
- 『指揮棒の魔術師ロジェストヴェンスキーの“証言”』
ブリュノ・モンサンジョン(著)、船越清佳(訳)、
音楽之友社、4,290円
- 『シベリア抑留下の芸術と人間——記録と記憶から想起する
(桜美林大学叢書 vol.019)』
森谷理紗、桜美林大学出版会、4,180円
- 『社会主義ベトナムのオペラ——国家をかたちづくる文化装
置』 加納遥香、彩流社、4,950円
- 『JAZZ 健康法入門』 寺島靖国、音楽之友社、1,980円
- 『シャンソン・フランセーズの諸相と魅力——民衆文化の花束』
吉田正明(編)、大阪大学出版会、6,930円
- 『19世紀イタリア・フランス音楽史(叢書・ユニベルシタス
1165)』 ファブリツィオ・デッラ・セータ(著)、
園田みどり(訳)、法政大学出版局、5,940円
- 『触発するサウンドスケープ——(聴くこと)からはじまる文
化の再生』 鳥越けい子ほか、岩波書店、2,970円
- 『身体の言語——十八世紀フランスのバレエ・ダクシオン』
川野恵子、水声社、5,500円
- 『神道の喪葬儀礼と近代』 塩川彩香、弘文堂、5,500円
- 『吹奏楽作品 世界遺産 100——後世に受け継がれゆく不朽の
名曲たち』 伊藤康英ほか、音楽之友社、1,980円
- 『随筆上方芸能ノート——落語・漫才・興行』
戸田学、青土社、2,640円
- 『聖なる自己——カリスマ派の癒しの文化現象学』
トーマス・J・チョルダッシュ(著)、飯田淳子ほか(監訳)、
水声社、6,600円
- 『そして私も音楽になった——サウンド・アッサンブラージュ
の人類学』 小西公大、うつつ堂、3,300円
- 『ソナチネアルバム攻略法——古典派への扉を開く』
佐藤卓史、音楽之友社、2,200円
- 『大地と星々のあいだで——生き延びるための人類学的思考』
橋爪太作、イースト・プレス、2,640円
- 『タマリンドの木に集う難民たち——南スーダン紛争後社会
の民族誌』 橋本栄莉、九州大学出版会、6,600円
- 『中国の信仰世界と道教——神・仏・仙人(歴史文化ライブラ
リー 598)』 二階堂善弘、吉川弘文館、1,870円
- 『徹底解説バッハ「インヴェンション&シンフォニア」弾き方
教え方 増補版(ONTOMO MOOK)』
ムジカノーヴァ(編)、音楽之友社、1,760円
- 『天空の玉座——中国古代帝国の朝政と儀礼 増補』
渡辺信一郎、法蔵館、1,320円
- 『統治されない技法——太湖に浮かぶ(梁山泊)』
太田出、京都大学学術出版会、6,050円
- 『東南アジアで学ぶ文化人類学』
箕曲在弘、二文字屋脩、吉田ゆか子(編)、昭和堂、2,860円
- 『トン族の歌と饗宴——ポリフォニーの歌声が結ぶ人びとの
文化誌』 牛承彪ほか、明石書店、9,680円
- 『日韓ポピュラー音楽史——歌謡曲から K-POP の時代まで』
金成玫、慶應義塾大学出版会、2,750円
- 『日本文化論序説——知れば得する!日本の「芸能」と「物語」』
稲田和浩、彩流社、2,200円
- 『花筐——対訳でたのしむ』
世阿弥(作)、西村聡(著)、檜書店、770円
- 『花柳舞踊研究会上演記録——大阪花街に残された二世壽輔
の軌跡』 笠井純一ほか(編)、清文堂出版、9,350円
- 『左手のフルーティスト』 畠中秀幸、音楽之友社、1,980円
- 『仏教儀礼の音曲とことば——中世の〈声〉を聴く』
柴佳世乃、法蔵館、9,900円
- 『フランス・フルート奏者列伝——ヴェルサイユの音楽家たち
からモイーズまで』 井上さつき、音楽之友社、3,080円
- 『平安時代の宗教儀礼と天皇』 斎木涼子、塙書房、12,100円
- 『ベートーヴェンと大衆文化——受容のプリズム(春秋社音楽
学叢書)』 沼口隆ほか(編著)、春秋社、3,080円
- 『辺境のラッパーたち——立ち上がる「声の民族誌」』
島村一平(編)、青土社、3,520円
- 『マーラーの姪——アウシュヴィッツの指揮者、アルマ・ロゼ
の生涯』 ウィルソン夏子、音楽之友社、2,750円
- 『水儀礼の民俗学的研究——奄美諸島のショージ儀礼を中心
に』 久留ひろみ、南方新社、4,180円
- 『モーツァルト 父の夢、子の夢——往復書簡から読み解く
「父と子のデュオドラマ」』
モーツァルトの手紙を読む会(編訳)、音楽之友社、2,750円
- 『もっときわめる! 1曲1冊シリーズ ⑦リヒャルト・シュト
ラウス:《ばらの騎士》(ON BOOKS advance)』
小宮正安、音楽之友社、1,320円
- 『もっときわめる! 1曲1冊シリーズ ⑧ J.S. バッハ:《マタ
イ受難曲》(ON BOOKS advance)』
矢澤孝樹、音楽之友社、1,320円
- 『やさしく学ぶ 楽典の森』
中村寛子(編)、長野俊樹(監)、音楽之友社、1,980円
- 『ラオスの遺産人類学——遺跡と精霊を越えて』
小田島理絵、雄山閣、7,700円
- 『琉球の音楽を考える——歴史と理論と歌と三線(沖縄学術
研究双書⑬)』 金城厚、榕樹書林、2,970円 *2022年刊
- 『ロシアの弦楽器バラライカ——過去から未来へ』
柚木かおり、群像社、2,860円
- 『ウォッコル村の祭祀と儀礼——チベット土族の重層的アイ
デンティティと伝統文化の変容に関する研究』
喬旦加布、白順社、3,960円

『わが恋は——栄芝一代の芸』

栄芝(著), 葛西聖司(文)、淡交社、2,200円

『児童が最後まで聴きたくなる! 小学校音楽科 鑑賞授業の事例集③』
粟飯原喜男、教育芸術社、1,210円

新発売視聴覚資料

●CD

『キミウタ2訂版 合唱・カラピアノ 追補CD』

GES-16033~34、5,500円

『吟詠の友(39)——2023年度 日本コロムビア全国吟詠コンクール優秀者~練習用吟詠・伴奏付』

栗城笙童ほか、COCJ-42284、2,701円

『トリオン 11——小学生のための合唱/パート練習用CD』

KGO-1204、3,300円

『トリオン 12——小学生のための合唱/パート練習用CD』

KGO-1205、3,300円

『博多宵灯り/竹の唄』相原ひろ子、VZCG-10588、1,400円

『舞踊小曲集 春の宵 唄つれづれに』

栄芝ほか、VZCG-851、1,980円

『みんなでおどろう! お祭り・盆おどり』

COCJ-42271、2,200円

『琉華』

島袋恵美子、30NCD-97、3,000円

編集後記

9月号をお届けいたします。毎年、9月号はすべての会員の方に郵送でお送りしております。今号も多くの方に記事のご執筆や情報提供でご協力いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。会報の新刊書籍・視聴覚資料の情報は、担当参事が毎号ウェブサイトなどを一つ一つチェックし、本学会の会員の関心にあった情報をピックアップして記事化しています。できるだけ必要な情報を網羅すべく努力していますが、いかんせん手作業ですので、どうしても見落としがあったり、タイトルや著者名だけでは内容の推測が難しかったり、判断に迷ったりする場合があります。「この出版物の情報が未掲載」等の情報をお持ちの方は是非、事務局あるいは編集委員のいずれかにお知らせください。

秋の大会で、多くの皆様に直接お会いできることを楽しみにしております。
増野亜子

編集委員会

理事：増野亜子、土田牧子

委員：山本華子

参事：井上環、今泉佳奈、神田花菜子、倉地真梨、

玉置彩乃、吉岡倫裕